

<公開授業について>

◆学年、教室：2年生（中学2年生）A組 パソコン教室

◆単元名：「プログラミングと表現、プログラミング的思考と論理的思考」

※本授業は時間割上は「国語」ですが教育課程上は学校設定科目「情報と表現」です。

◆授業の流れ：

1、(5分) 本時の学習活動の説明

- ・最終発表のための中間報告会であること
- ・報告内容には必ず、従来の表現方法（模造紙やPower Pointなど）とプログラミングによる表現方法との比較を入れたメタ認知的な分析を入れること

2、(25分) グループでの発表準備

- ・グループ員同士でのお互いの表現戦略の共有をおこなうこと
- ・代表発表者の表現戦略の発表をわかりやすく印象的にするための工夫をすること
- ・本単元で習得したプログラミングによる表現スキルや、プログラミングによる表現とすでに身に付けてきた表現スキルとの対比から気づいたこと等が、今後の自分（たち）の表現にどう生かせるのかといったPortability(可搬性)の観点からの展望を述べること。

◆ねらい：自己の表現スキルのメタ認知と表現スキルのコンピテンシー化

3、(25分) 発表

4、(5分) 次時の予告と片付け

上記は2017年度パナソニック教育財団による研究助成を受けた教育実践研究に関連する授業です。

○研究課題名

中学校の教科等での論理的・創造的な思考力と「プログラミング的思考」を相乗的に育成する教育メソッドの開発 ～新たな表現方法と表現力の習得を軸として～

○研究の成果目標

- 1, 中学校の各教科で育まれる論理的・創造的な思考力と「プログラミング的思考」の相乗的な育成を可能とする学習活動を開発できる
- 2, プログラミングを「生きて働く『知識・技能』」であると生徒が実感し、自分自身の学習活動に活用できるリテラシーとしてプログラミングスキルの主体的な習得と活用を可能にする学習活動を開発できる
- 3, 発表（表現）活動において、生徒に自身の表現スキルを戦略的に生かす態度と能力を涵養・育成できる